

機械器具 5 麻酔器並びに麻酔器用呼吸囊及びガス吸収かん
管理医療機器 再使用可能な麻酔用呼吸回路 JMDN: 37021000

ジャクソンリース呼吸回路

【警告】

- ・ 本品は使用する前に必ず「使用前点検」を行い、異常の無いことを確認してください。
- ・ 本品と併用医療機器の接続に関しては、製造者の取扱説明書を参照してください。
- ・ 本品を使用する前に必ずコネクタの接合状態および、閉塞やリークの無いことを確認してください。

【禁忌・禁止】

1. 併用医療機器
使用前に点検時において、次に該当する場合は使用しないこと。
- (1) 十分な接続が維持できない、または離脱が困難な製品。
 - (2) 接続により閉塞を引き起こす製品。

* 【形状・構造及び原理等】

<構成>

本品は吸入全身麻酔に用いられる非再呼吸型呼吸回路であり、下図の部品により構成されており、バッグ容量により次の 4 種が用意されています。

【外観図】



【構成部品】

	名称	コード No	部品画像	材質・規格等
1	メインアッセンブリ	42031		蛇管：シリコンゴム コネクタ：ポリサルフォン チューブ：シリコンゴム 口径：ID15mm 蛇管接続口：OD21mm
2	呼吸バッグ	42032 ～ 42035		シリコンゴム 口径：22mm 容量 0.5～3L の 4 種 0.5L 200mm (L) x 95mm (W) 1L 260mm (L) x 95mm (W) 2L 310mm (L) x 115mm (W) 3L 360mm (L) x 140mm (W)
3	排気バルブ	42042		ポリサルフォン 余剰ガス口：11mm バッグ接続口：10mm
4	小児用マスク (別売り)	42037 42038		シリコンゴム (小) φ60mm x 43mm (H) (大) φ77mm x 53mm (H)
5	成人用マスク (別売り)	42039 42041		シリコンゴム (小) 80mm (W) x 100mm (L) (大) 100mm (W) x 125mm (L)

** 【使用目的又は効果】

<使用目的>

本品は主に吸入麻酔または人工蘇生時における呼吸管理に使用します

** 【使用方法等】

<使用方法>

1. 本品を使用する前に、あらかじめ洗浄・消毒又は滅菌を行います。
2. 対象患者に適した呼吸バッグとマスク (別売り) を選択します。
3. 各部品を外観図のように組み立てた後、呼吸バッグをバッグコネクタに取り付けます。
4. デリバリチューブにコネクタ (OD: 15mm, オプション) を取り付け、麻酔器のフレッシュガス (麻酔ガス) 出口部に接続します。
5. 排気バルブと余剰麻酔ガス排除システムをチューブ等で連結します。
6. 次の手順に従い「使用前の点検」を行います。
 - (1) 排気バルブを閉じた後、マスク開口部を手のひら等で塞ぎます。またはマスクを取り外し、代わりにテストラングをマスクアダプタに取り付けます。
 - (2) 麻酔器の酸素流量調節ツマミを操作して、呼吸バッグに酸素ガスを十分に貯めます。
 - (3) 呼吸バッグを手で圧迫して各接合部に異常がないこと。加圧が十分にできること (テストラングが十分に膨らむこと)。排気バルブを操作したとき、余剰麻酔ガス放出の調節ができることを確認します。
7. 麻酔器を取扱説明書に従い操作し本品に麻酔ガスを供給します。
8. 呼吸バッグを手で圧迫して麻酔ガスを送気します。バッグ内の麻酔ガス量は排気バルブを操作し適度に調節します。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 本品は非再呼吸送気方式であるため供給ガス流量が少ない場合、炭酸ガス蓄積を引き起こす可能性があります。
2. 呼吸バッグを加圧する際は、患者の肺容積に留意してください。
3. 本品の呼吸バッグや蛇腹管・コネクタなどにキズ、ヒビ割れ・劣化等の損傷や破損がないことを確認してください。
4. 本品と他の医療機器を併用する場合は、使用前に必ず適切に接続できることを確認してください。
5. 本品へ供給されるガスが加湿されていない場合、人工鼻などの適当な給湿器具を用いてください。
6. 本品に異常が認められる場合は使用しないでください。
- * 7. 本品の滅菌には、プラズマ滅菌を使用しないでください。

** 【保管方法及び有効期間等】

<貯蔵・保管方法>

1. 水濡れに注意して直射日光や、高温多湿を避けて保管してください。
2. 本品は室温環境下で保管してください。また、オゾン発生機器の周辺や蛍光灯下に保管しないでください。
3. シンナー、油脂、ガソリンなどの有機溶剤に接触させないでください。

<有効期間>

製造日より 5 年間 (自己認証)。メインアッセンブリ表示ラベルに使用期限が表示されています。

【保守・点検に係る事項】

<消毒・滅菌>

1. 本品の使用後は交差感染を防止するため、速やかに洗浄及び消毒、又は滅菌を行ってください。
2. オートクレーブ滅菌 (高圧蒸気滅菌) や EO ガス滅菌を行う際は、**予備洗浄を行い、消毒液及び洗浄剤を完全に洗い流し**、十分に乾燥させてから行ってください。
3. 本品をオートクレーブ滅菌する場合は、温度 132℃、圧力 3.0bar、作用時間 5 分以下で行ってください。
4. 本品を EO ガス滅菌する場合は、滅菌装置製造者の指示書、又は医療機関の指針に従い適切に行ってください。
5. 薬液消毒や洗浄剤を用いる場合は、溶剤製造者の推奨する濃度及び時間に従い適切に行ってください。
6. 消毒・滅菌については、【使用上の注意】も参照してください。

** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

クロス・メディカルサービス株式会社

<製造業者>

ゲルメドコーポレーション (GALEMED CORPORATION)、台湾